

水害への備えを「工場・マイタイムライン」に追記して、
別紙として提出する場合の記入例

(第 29 号様式 表面)

化学物質管理方法書

年 月 日

(あ) 提出は、工場・指定作業場を設置している法人または個人（届出者）となります。住所（法人所在地）・法人名（名称）・代表者名（または個人名）を記入して下さい。

郵便番号（ 144-8621 ）
住 所 東京都大田区蒲田 5-13-14
氏 名 株式会社 大田製作所
代表取締役 大田 花子
事務所の所在地
電話番号（ 03 - 5744 - 1111 ）

押印不要

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例第 111 条第 2 項の規定により、化学物質管理方法書を作成（変更）しましたので、次のとおり提出します。

事業所の名称	株式会社大田製作所 大森工場		
事業所の所在地	大田区大森西一丁目 12 番 1 号		
工場・指定作業場の別	① 工場	2 指定作業場	
業 種	金属製品製造業 (産業分類番号 2800)		
作 業 の 種 類	切削		
従 業 員 数	40 人 (令和 3 年 4 月 1 日現在)	全事業所の常用雇用者数	80 人 (令和 3 年 4 月 1 日現在)

当事業所の
正社員のみ

管理方法書

別紙のとおり

全事業所の人数(アルバイト・パート等込み)

連絡先
所属 生産管理課
氏名 大田 太郎
電話番号 03-5744-1369
(ファクシミリ番号 03-5744-1532)
(電子メールアドレス ○○○○@city.ota.tokyo.jp)

化学物質の種類と 使用目的・使用・製造の規模量等		△別紙(―)のとおり ○年○月○日(前回提出時)提出したのから変更なし
化学物質の取扱工程の内容		同上
管理 方法 書	化学物質の排出防止設備等 の内容と保守管理	同上
	化学物質の排出状況の 監視の方法	同上
	化学物質の使用量等の 把握の方法	同上
	化学物質の使用合理化等 排出削減等に関する取組方法	同上
	その他の管理方法	同上
事 故 時 等 の 対 応	事故・災害の防止対策の内容	△別紙(―)のとおり 追記内容は別紙「水害等への防災行動計画」「応急対策タ イムライン」のとおり それ以外は前回提出したのから変更なし
	事故処理マニュアルとその内容	△別紙(―)のとおり 同上
	化学物質の貯蔵施設の容量	△別紙(―)のとおり 別紙「その他」のとおり
管 理 組 織	管理組織の名称 及び管理責任者	前回提出したのから変更なし
	管理組織図	△別紙(―)のとおり 前回提出したのから変更なし
	従業員教育の内容及び実施方法	△別紙(―)のとおり 追記内容は別紙「水害等への防災行動計画」のとおり それ以外は前回提出したのから変更なし

備考 △印の欄は、報告書の別紙に添付する各別紙に一連番号をつけた上、該当する別紙の番号を記入すること

② 水害等への防災行動計画

別紙

	実施する流出防止対策等	
対策の目標	<input type="checkbox"/> 最大想定浸水深 【0.5～3.0m】（多摩川） <input type="checkbox"/> 過去の浸水記録 【 m】（ 年、台風 号）	
	<input type="checkbox"/> 対策の目標 <input type="checkbox"/> 浸水防止 <input type="checkbox"/> 流出防止 <input type="checkbox"/> 流出軽減	具体的に ・土のうによる浸水防止対策を実施し、被害を軽減する
平時からの備え	<input type="checkbox"/> 計画等の策定 （判断基準、実施手順、社内規定等）	策定した既定の名称 ・水害等への防災行動計画
<p>2021年4月化学物質適正管理指針改正により、『保管容器等への化学物質名の表示』は全事業所必須となりました。表示方法をご記入ください。複数ある場合は別紙をつけて下さい。</p>	対策の準備 資材確保 設備改修	具体的に ・防災情報のレベルに応じ応急対策を実施（別紙 応急対策タイムラインに準ずる） ・薬品庫内の片づけ、清掃
	化学物質名称表示	<u>薬品の一斗缶やタンクには化学物質名とGHSラベルの記載あり</u>
	訓練等の実施 （社内、地域）	別紙【その他】のとおり （水害対応訓練：毎年6月上旬）
洪水等の発災直前	【応急対策タイムライン】のとおり	
（事故発生時）	<input type="checkbox"/> 消防機関への通報 <input type="checkbox"/> 流出物の回収 <input type="checkbox"/> 行政機関への通報	事業部責任者に連絡した上、担当者が速やかに消防、関係行政機関に連絡
発災直後（天候回復時）の点検・復旧	<input type="checkbox"/> 点検・補修 <input type="checkbox"/> 臨時保管施設等の安全対策 <input type="checkbox"/> 電気設備の健全性確認	マスク、ゴーグル、手袋、ゴム長靴等の保護具を準備し、粉塵の吸い込み、怪我、感電等に注意して作業を行う。
事故処理	<input type="checkbox"/> 被害の確認 <input type="checkbox"/> 消防機関への通報 <input type="checkbox"/> 作業時の安全確保 <input type="checkbox"/> 流出物の回収・処理 <input type="checkbox"/> 行政機関への報告	・被害の確認を行った上、外部流出が発見された場合は、担当者は速やかに回収・処理の手配に入る。また、関係行政機関や消防機関にも連絡を行う。 ・施設内において流出があった場合はウエスでふき取る。

③ 応急対策タイムライン

警戒レベル		1	2	3	4	5
避難情報				高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
気象庁等の情報	大雨	早期注意情報	大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	土砂災害警戒情報	大雨特別警報
	風に関する気象情報		強風注意報		暴風警報	
	高潮に関する情報		高潮注意報		高潮警報	
	河川の氾濫		氾濫注意情報	氾濫警戒情報	氾濫危険情報	氾濫発生情報
事業所での行動	防災情報収集方法の例	台風進路予想 TVニュース	気象庁HP 雨雲レーダー	防災アプリ 河川水位情報	行政 SNS 防災無線	(停電時) 携帯ラジオ 防災無線
	従業者等の安全確保 (出勤抑制、避難行動等)	シフトの確認、見直し	要配慮従業員の帰宅	運休見込み路線の従業員の帰宅	【全員避難】 全従業員の帰宅・避難 責任者の安全確保・避難	(非難が間に合わなかった場合) 命を守る行動
	浸水防止(土のう、止水板等)	土のう・水のう作成	土のう・水のう設置(通用口以外)	土のう・水のう設置完了	責任者による最終確認	(命を守る行動を優先)
	流出・逆流防止 (弁閉鎖、フタ閉め、固定等)	ビニールシート準備	停止した機械のフタ閉め・シートがけ	停止した機械のフタ閉め・シートがけ完了	責任者による最終確認	(命を守る行動を優先)
	薬品の移動(高所、水密性のある部屋・容器内等)		2階へ移動	移動しない薬品の固定	責任者による最終確認	(命を守る行動を優先)
	操業停止	廃液処理実施	一部機械の停止	操業停止	責任者による最終確認	(命を守る行動を優先)
	関係機関への事前情報提供	通報先リスト確認		組合への連絡	(作業が完了しなかった場合) 消防署への事前情報提供	(流出を確認した場合)消防署への通報
地域での行動	地域防災行動計画	3日分の備蓄確認	顧客、周辺住民の安全確保のための行動			
	町内会との協定など			町内会への作業完了連絡 近隣住民の避難援助	(作業が間に合わなかった場合)町内会への事前情報提供	(流出を確認した場合)町内会への情報提供

水害対策に限らず、前回提出時から変更・追加した内容があれば添付して下さい。

別紙

④ その他

【化学物質の貯蔵施設一覧】

タンク・容器の種類	容量	数量	化学物質名称	有害性表示内容	貯蔵・保管場所
水処理タンク	1000L	1	塩酸	劇物(重篤な皮膚の薬傷、目の損傷、呼吸器系の障害)	水処理施設
ドラム缶	90L	1~2	酢酸エチル	劇物(眼刺激、呼吸器への刺激のおそれ、眠気やめまいのおそれ)	危険物保管庫
	90L	1~2	メチルエチルケトン	皮膚刺激、強い眼刺激、呼吸器への刺激、眠気又はめまいのおそれ、腎臓の障害のおそれ	危険物保管庫
	90L	1~3	メタノール	劇物(強い眼刺激、視覚器、全身毒性、中枢神経系の障害、眠気やめまいのおそれ)	危険物保管庫
ドラム缶	90L	1~2	クロロホルム	劇物(皮膚刺激、重篤な眼の損傷、眠気又はめまいのおそれ、呼吸器、心血管系、肝臓、腎臓の障害、IARC2B)	溶剤保管庫

【従業員教育の内容及び実施方法】

(1)化学物質を取り扱う従業員を対象に行う教育、訓練

- ・応急対策(水害)タイムラインによる応急対策(流出防止対策)の訓練を実施
- ・水害後の復旧作業(流出した化学物質の回収・処理)における注意事項を周知

(2)全従業員に対する教育

- ・事業所所在地のハザードマップの見方と被害想定を周知
- ・応急対策(水害)タイムラインによる応急対策(浸水防止対策)の訓練を実施
- ・水害後の復旧作業(設備点検・排水・清掃作業)における注意事項を周知

(3)年間実施計画

- ・教育・訓練の実施日 教育は毎月1回実施、訓練は年2回実施

水害対応訓練:毎年6月上旬

- ・実施場所 事業所において実施
- ・その他 訓練は、被害シナリオを設定し、対処方法を検討したうえで実施する。
緊急参集訓練は、電話が不通になることを想定して行う。